

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 17 日(2024.12.17)

【公開番号】特開 2024-164035(P2024-164035A)
【公開日】令和 6 年 11 月 26 日(2024.11.26)
【年通号数】公開公報(特許)2024-221
【出願番号】特願 2024-124981(P2024-124981)
【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 M 16/06 C

A 6 1 M 16/06 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 9 日(2024.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a. 左サイドアーム及び右サイドアームであって、前記左サイドアームは左顔面パッドを有し、前記右サイドアームは右顔面パッドを有する、左サイドアーム及び右サイドアームと、

b. 一对の鼻ブロングであって、該一对の鼻ブロングの各鼻ブロングは、ユーザの鼻の 1 つの鼻孔内にガスの流れを案内するように構成されている、一对の鼻ブロングと、

c. 前記左サイドアームとの接続箇所と前記右サイドアームとの接続箇所とに取り付けられるブリッジ部であって、該ブリッジ部は前記左サイドアームとの接続箇所と前記右サイドアームとの接続箇所との間に延び、前記左サイドアーム及び前記右サイドアームと前記一对の鼻ブロングは、前記ブリッジ部よりも可撓性が高い、ブリッジ部と、
を備える、患者インターフェース。

30

【請求項 2】

前記ブリッジ部は、前記患者インターフェースの前記左サイドアーム又は前記右サイドアームに印加される力から実質的に切り離される、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 3】

前記左サイドアーム及び前記右サイドアームの各々との前記接続箇所は、前記ブリッジ部の端部と、各サイドアームの内端部の各々との間に設けられている、請求項 1 記載の患者インターフェース。

40

【請求項 4】

前記左サイドアームとの接続箇所及び前記右サイドアームとの接続箇所はそれぞれ第 1 可動ジョイントを備える、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 5】

前記第 1 可動ジョイントは、ヒンジ式ジョイントである、請求項 4 記載の患者インターフェース。

【請求項 6】

前記第 1 可動ジョイントは、枢動ジョイントである、請求項 4 記載の患者インターフェース。

50

【請求項 7】

前記一对の鼻ブロングは、前記左サイドアーム及び前記右サイドアームそれぞれの内端部から延出する、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 8】

前記ブリッジ部は、前記一对の鼻ブロングにわたって延在するバーである、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 9】

前記左サイドアームに取り付けられた取付具及び前記右サイドアームに取り付けられた取付具を備え、各取付具は、前記バーのための前記接続箇所を提供する、請求項 8 記載の患者インターフェース。

10

【請求項 10】

各取付具は、第 2 可動ジョイントを備える、請求項 9 記載の患者インターフェース。

【請求項 11】

各第 2 可動ジョイントは、ヒンジ式ジョイントである、請求項 10 記載の患者インターフェース。

【請求項 12】

各第 2 可動ジョイントは、枢動ジョイントである、請求項 10 記載の患者インターフェース。

【請求項 13】

前記左サイドアームとの接続箇所と前記右サイドアームとの接続箇所はそれぞれ第 1 可動ジョイントを備え、前記バーは、前記第 1 可動ジョイントの各々によって、前記取付具の各々に取り付けられる、請求項 9 記載の患者インターフェース。

20

【請求項 14】

前記一对の鼻ブロングの各々は、前記一对の鼻ブロングの各々の先端が、使用時に、ユーザの頭部の後側の方に向くように形成される、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 15】

前記左サイドアームと前記右サイドアームは各々、ガス送達ルーメンを有しており、該ガス送達ルーメンは前記左サイドアームと前記右サイドアームの各々のガス入口からガスを受け取るように構成されている、請求項 1 記載の患者インターフェース。

【請求項 16】

前記患者インターフェースはさらに、前記ガス入口に接続された一对のガス送達導管を備える、請求項 15 記載の患者インターフェース。

30

【請求項 17】

前記左サイドアームと前記右サイドアームは各々、前記一对の鼻ブロングの各々にガスを別々に送達するため、別々のガス送達ルーメンを有している、請求項 15 記載の患者インターフェース。

【請求項 18】

前記左サイドアームと前記右サイドアームの患者の方に面する側に、前記患者インターフェースを前記ユーザの顔面に保持するように適合された取付構造が設けられている、請求項 1 記載の患者インターフェース。

40

【請求項 19】

前記患者インターフェースはさらに、前記ユーザの顔面に固定するように適合された固定構造を備え、該固定構造は、前記患者インターフェースを、前記ユーザの顔面に保持するように適合された前記取付構造に取り付けるように構成されている、請求項 18 記載の患者インターフェース。

【請求項 20】

前記固定構造は、インターフェース側と患者側を有する皮膚パッチを備え、前記皮膚パッチの前記患者側は、接着剤によってユーザの皮膚に取り付け可能であり、前記皮膚パッチの前記インターフェース側は、前記取付構造と着脱可能に取り付けられるように構成された、2 部品式着脱可能取付システムの第 1 の部品を有する、請求項 19 記載の患者イン

50

ターフェース。

【請求項 21】

使用時にユーザに着用されたとき、患者インターフェースを所定の位置に保持するための、着脱可能な接続システムであって、該着脱可能な接続システムは、請求項 1 に記載の患者インターフェースと、前記ユーザの顔に取り付け可能な少なくとも 1 つのパッドであって、前記患者インターフェースが該パッド上に着脱可能に係合可能である少なくとも 1 つのパッドと、を備える、着脱可能な接続システム。

10

20

30

40

50